

感染症情報 3月25日～31日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,096例(堺市	59例)
②溶連菌感染症	428例(堺市	52例)
③RSウイルス感染症	228例(堺市	20例)
④伝染性紅斑	100例(堺市	4例)
⑤咽頭結膜熱	93例(堺市	10例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 346例(堺市 34例)

感染症報告数は前週比4.9%減の2,206件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、咽頭結膜熱の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比して10%減、堺市は2%増であった。溶連菌感染症は府下で7%減、堺市で13%増であった。RSウイルス感染症は府下で8%減、堺市で13例→20例であった。伝染性紅斑が府下で1%減、堺市で6例→4例となった。咽頭結膜熱が府下で前週と同数、堺市では5例→10例であった。

インフルエンザは府下で前週504例→今回346例は31%減で定点当たりの報告数は1.66→1.14となった。堺市では前週40例→今回34例となった(15%減)。

麻疹の報告が府下で今回5例あり(堺市はなし)。麻疹の年始からの府内累計報告数は128例となった。

風疹は府下で2例あり(堺市はなし)。風疹の府内累計報告数は96例となった。昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対する『風しんの第5期定期接種』が、堺市でもまずは堺市在住の方を対象にスタートしている。詳しくは、堺市ホームページ <https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/kansensho/yobo/rubella5th.html>へ。